

寄贈救急自動車事業について

救急企画室

1. はじめに

救急自動車による救急出動件数及び搬送人員は年々増加しています。令和7年の救急自動車による救急出動件数は768万6,235件（対前年比3万2,145件減、0.4%減）、搬送人員は676万1,871人（対前年比7,301人減、0.1%減）となり、集計を開始した昭和38年以降で最多となった令和6年に比べて微減となりましたが、過去2番目に多くなりました。（図1参照）

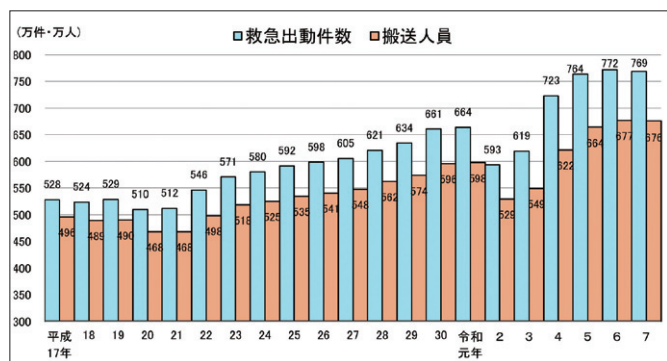
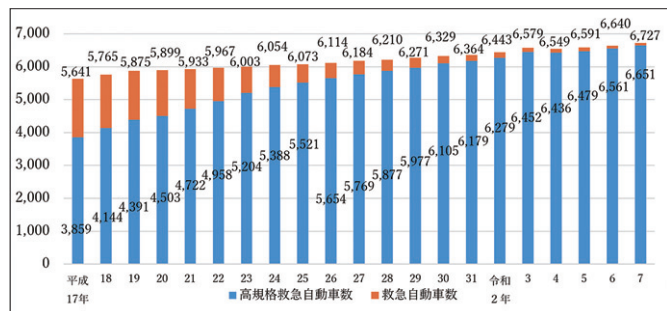


図1：救急自動車による救急出動件数及び搬送人員の推移
（「令和7年中の救急出動件数（速報値）」より抜粋）

救急需要の増大や救急業務の高度化に伴い、消防本部では救急車両の増強・更新に際して高規格救急自動車の導入が積極的に図られていますが、財政状況等の事情もあり配備率は100%に至っていません。（図2参照）



※各年とも4月1日現在の数値である。

図2：高規格救急自動車数と救急自動車数の推移
（「令和7年版救急・救助の現況」より作成）

2. 寄贈救急自動車事業とは

寄贈救急自動車事業は、全国の消防本部に高規格救急自動車を配備することで、各地域における救急業務の高度化、救急業務体制の更なる充実を図ることを目的としています。消防庁では、寄贈元であるアステラス製薬株式会社、一般社団法人 日本自動車工業会及び一般社団法人 日本損害保険協会の3団体に対し、寄贈先となる消防本部の推薦を行っています。上記3団体からは50年以上にわたり全国の消防本部に高規格救急自動車の寄贈をいただいております。累計台数は2,725台（令和8年4月1日現在）となっています。

寄贈を受けた消防本部からは、「救急車は救命率の向上や、迅速で質の高い救急医療を可能にする。最大限活用し救急体制の充実に努める。」などの言葉が寄せられています。



アステラス製薬株式会社 寄贈
鹿沼市消防本部（栃木県）

一般社団法人
日本自動車工業会 寄贈
指宿南九州消防組合
（鹿児島県）

一般社団法人
日本損害保険協会 寄贈
久慈広域連合消防本部
（岩手県）

写真：令和7年度寄贈救急自動車

3. おわりに

今年度も、アステラス製薬株式会社、一般社団法人 日本自動車工業会及び一般社団法人 日本損害保険協会の3団体から高規格救急自動車を寄贈していただける予定です。今後も、全国各地において寄贈していただいた高規格救急自動車が活躍し、地域住民の方々への安全・安心の提供や、救急業務の高度化、救急業務体制の更なる充実が図られることを期待しています。

問合せ先

消防庁救急企画室 辻、松田、出口
TEL: 03-5253-7523